

2010年度

科目名	日本文学講読IV		
担当教員	高橋 圭一		
配当	日文1(2112)	コード	11080
開期	後期	講時	月曜日1限
		単位数	2
授業テーマ	元禄の流行作家井原西鶴を読む。		
目的と概要	近世文学きってのストーリー・テラー井原西鶴の作品を読む。西鶴の生涯と彼が生きた時代をざっと観たのち、四～五編を細かな語釈・解説を加えつつ熟読する。		
成績評価法	学期末の試験(論述式)80%、平常点20%。		
テキスト	プリントを配布する。		
参考書	講義中に随時紹介する。		
履修に当たっての注意・助言	西鶴の文章は決してやさしくはない。現代語訳はあてにならない。講義中、よく聞いておくこと。前期と後期とでは読む作品を一部入れ替える。		
講義計画			
第1回 西鶴の生涯、西鶴と大坂。 第2回 続き。西鶴と俳諧。 第3回 続き。代表作品の解題。 第4回 『好色一代男』巻一の一「けした所が恋はじめ」。光源氏は文始め、稀代の色事師世之介は恋始め。 第5回 続き。 第6回 『万の文反故』巻二の三「京にも思ふやう成事なし」。結婚狂想曲。結婚を繰り返したその果ては？ 第7回 続き。 第8回 『武道伝来記』巻三の三「大蛇も世に有人が見た様」。臆病な侍の息子が父の恥を晴らそうとするが。 第9回 続き。 第10回 続き。 第11回 『西鶴諸国ばなし』巻二の一「大晦日はあはぬ算用」。貧しい武士たちのちょっといい話。 第12回 続き。 第13回 『本朝二十不孝』巻二の一「旅行の暮の僧にて候」。わずか九才の娘が父親に人殺しをそそのかす。 第14回 続き。 第15回 今回の講義のまとめ。			